

「法勝寺川と桜の名所」 西伯町

西伯町には、日野川の支川である法勝寺川が南北に縦に流れています。この川土手は桜が非常に有名ところで約2キロに渡り800本の桜並木があり、シーズンには賑わいを見せています。川や水への取り組みは、まず親しむことにより「川を美しく、水質を清らかに」という想いを熱くすることが大事ではなからうかと思えます。



源流をたずねる会

れが子どもたちにも、どんどん広がっていくようにという想いから、「水生昆虫で調べる法勝寺川の水質」という取り組みを昭和61年からやっています。また、樹言塾という林業研究グループが、川の取り組みを始め、その一つとして法勝寺川の源流を訪ねる会も行いました。このような取り組みを通して川の文化をはぐくんでいき、子どもたちが川に対する想いや、川に対する文化というものを引き継いでくれないかと思っています。



水生生物調査をする中学生

西伯

「市民の憩いの場」 米子市

法勝寺川と日野川が合流して最終的に日本海に注ぐところに米子市があり、経済的な意味で日野川、そして法勝寺川は非常に重要です。

例えば水道水のうちの7分の1は日野川の伏流水で賄われ、弓ヶ浜半島の農業用水路「米川」の水も日野川の水です。米子水鳥公園もさることながら、野鳥が飛来し、生息する地域としての日野川も注目を集めており自然環境の大切さがかがえます。市民の憩いや活動の拠点として、日野川運動公園（河川敷）や日野川堰運動広場もあります。市民の方が野球、サッカー、ゲートボール、グラウンドゴルフなどで、有効に利用されていると思っています。



米子市長



日野川堰運動広場

米子

「美しい川(江)」 江府町

「川に親しもう、川や自然・ふるさとへの思いを」ということで地元グループである感々会が中心となり、川に親しめるイベントとして「日野川まつり」を行っています。日野川の漁師仲間である「愛漁会（魚漁を愛する会）」というグループを通じてウナギとアユの放流も行っています。夜振橋、久連橋では「このぼり」と「日野川をきれいにしましょう」という横断幕を掲げて注目を引いています。子どもたちが川へ関心を持ち、川を通じてふるさとへの思いを養ってもらいたいという想いから、昨年は、水をテーマとした国民文化祭の取り組みも行いました。



江府町長

それらの成果は、子どもたちの中に着実に実りつつあると思っています。



江府町鯉のぼり

江府